



平成27年1・2月号
(通算 20号)



島根ふるさとフェア2015

1月17日、18日と広島県立総合体育館で「島根ふるさとフェア」が開催されました。今回は18回目の開催となり、二日間で17万1千人と大変多くの来場者で賑わいました。

隠岐世界ジオパークのブースでは、映像とパンフレットでの観光案内、ジオまん(中華まん)や雑貨の販売、木の実を使ったクラフト体験、隠岐の特産品を景品とした抽選会などを行いました。アンケートでは、観光と今回初めて島外でのイベントで販売した「ジオまん」への興味関心が見られ、ブースでも良く尋ねられました。食、植物、マラソンなど人によって興味の対象が異なるので、今後も様々な隠岐の魅力を紹介していきたいと思えます。



「ジオまん」は、隠岐の食材(パイ貝・あかもく・椎茸)を使い、真ん中にマグマをイメージした卵の黄身が入った中華まんです。

2015 隠岐 マラソン関係イベント

自然の中を歩いたり、走ったりして隠岐世界ジオパークを満喫しませんか！

大会名	場所	開催日	お問合せ
第9回布施の山伏マラニック	島後	4月19日	(08512)2-0227
第10回記念隠岐の島ウルトラマラソン	島後	6月21日	(08512)2-8575
第7回隠岐の島自然体験マラニック in 都万	島後	7月1日、19日	(08512)2-0227
五箇マラニック	島後	8月(日時未定)	(08512)2-0227
シーサイド風マラソン	島後	10月(日時未定)	(08512)2-2126
島RUN2015	島前	10月18日	(08514)7-8131
第6回隠岐の島だいまんじトレイルラン	島後	11月15日	(08512)2-0227
とって隠岐スリーデーウォーク	全島	5月30日~6月1日	(08514)2-0101

※マラニックは、マラソンとピクニックを合わせたもので、山の中を走り抜けます。自分のペースでゆっくりと景色を眺めながら楽しむ事も出来ます。

レンジャー通信

「国立公園のこれからのを考える会(第2回)を開催しました」

1月15日(水)に、行政や住民20名にお集まり頂き、漂着ごみ対策の専門家(一般社団法人 JEAN 小島あずさ氏)から、漂着ごみの影響と国内外の取組事例を紹介いただいたあと、隠岐での課題や対策などを話し合いました。参加者からは、漂着ごみは国内由来のものも多数あり、漂着ごみを減らすための教育や、地道な清掃活動が大切といった意見やゴミの回収作業を楽しみながら継続していく事例がとても参考になったという意見が寄せられました。



●「国立公園のこれからのを考える会(第3回)を開催します！」

わたしたちの暮らしに恵みを与えてくれる「海」について、意識する機会が減っていませんか?大切な「海」をもっと身近な存在にするための取組を一緒に考えたいと思います。事前申し込みは必要ありませんので、誰でもお気軽にお越し下さい。

日にち:平成27年2月10日(火)
時間:14:00~16:00
場所:西ノ島町黒木公民館(予定)

寒さの中に春を感じる

「油井のスイセン群落」

隠岐の島町

島後の北西に位置する油井の海岸沿いに広がるスイセン群落。12月から2月頃にかけて、あたり一面に凜とした爽やかな香りを漂わせます。

スイセン群落と油井ノ池を結ぶ道沿いには、海の向こうに島前を望むことができ、その眺めは息をのむものがあります。また、周辺には、「オキノアブラギク」、「ハマダイコン」等の植物も見られ、「油井のスイセン等の植物群落」として町の天然記念物に指定されています。

スイセンの香りと雄大なロケーションを楽しみながらのウォーキングで、一足早く春を感じてはいかがでしょうか。



★油井すいせん祭（島後）2月15日（日）

油井ノ池園地駐車場 11:00~13:00

「冬の漁の仕事」

海士のマルチワーカーの目から

海士町

冬の海、大敷の定置網ではイカやブリが獲れるようになりました。自然を相手にする仕事で、頼りにするのは経験から学んだ知識や培われた勘です。「獲れるイカのサイズが小さくなってきたら、シーズンが終わる」や、「月の満ち欠けでイカの漁獲量が変わる」など、自然の様子を見ながら海に出る様子は、この環境らしい「人の営み」のように感じます。写真は、朝焼けで明るくなり始めた空です。漁が終わり、港へと向かう船の中から撮りました。鳥は船に群がりながら追いかけ回すことからも、「船の帰りを鳥が知らせる」という話を聞いたことも印象的でした。



雪の林道は発見がいっぱい！

西ノ島町

12月から1月にかけてたくさん雪が積もりましたね。雪が積もった日は寒くて家の中で閉じこもり気味ではありませんか？ 勇気を出してちよつと外に出かけてみましょう。道に積もった雪の上では、いろいろな動物の足跡が見つかります。わかりやすいのはオキノウサギ。前足を先について、それを追いつくように後ろ足をつく独特の形をしています。ほかにもイタチやネズミ、カラスの足跡も見つかります。さらにその足跡を追ってみましょう。まっすぐに走っていたり、急に方向転換したり、突然消えたり・・・。どんな行動をしていたのか、想像してみるのも楽しいです。ふだんは出会う機会の少ない動物たちの存在を、感じてみてはいかがでしょうか？



フェリーターミナル新築へ

知夫村

1月8日付の山陰中央新報で、知夫村の玄関である来居港に旅客ターミナルを新築する記事がありました。本土と隠岐を結ぶフェリーの寄港地で唯一なかった、待合室とフェリーの入口をつなぐ電動の乗降設備を取り付ける計画で平成29年度の供用開始を目指すものです。

現在の来居港ターミナルは昭和55年に完成しており、切符売り場のほか、観光案内所や土産物店があります。乗客の乗降はフェリーに備え付けられた階段を使用し、車いすの方は、車両甲板から入って船内のエレベーターに乗るなどしており、県に改善を求めていました。

新フェリーターミナルは、一階部分は、切符売り場や観光案内所、土産物店を、二階部分にはジオパークなどの展示スペースを設ける予定です。



隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。



☎ (08512) 2-9636

FAX (08512) 2-9626

メール info@oki-geopark.jp



隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地
(隠岐支庁3階 県民局内)